

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
子ども学ゼミ C	単位認定	1	井本 英子

記載不要

【授業のテーマ及び到達目標】

保育・教育現場での様々な音楽の手法について学び、保育・教育現場で音楽活動を実践できるようにするための高度な技術と技能の基礎を身に付ける。

到達目標：・音楽理論を習得し説明できる。

- ・保育現場で対応できるような歌唱ができる。
- ・弾き歌い曲を演奏できる。
- ・コードネームを理解しコードネームを使って演奏できる。
- ・アンサンブル課題の中で音楽を高めてまとめていくことができる。

【授業の概要】

演習。各人の技術向上及びグループワーク。課題は1回完結ではなく継続して積み重ねて学習する。1年間かけて技術習得を目指すので子ども学ゼミD(後期)も続けてこのゼミを受講することが受講条件。各項目の学習において使用する楽曲は受講生に合わせて選曲する。子ども学ゼミ A とは異なる楽曲での学習となる。

【全体の授業計画・内容】

1. オリエンテーション

事前学修課題:シラバスを熟読する。【0.5 時間】

事後学修課題:学びたい楽曲を調べる。【0.5 時間】

2. 曲目選択

事前学修課題:学びたい楽曲を調べる。【0.5 時間】

事後学修課題:課題曲を練習する。【0.5 時間】

3. 音楽理論(基本)

事前学修課題:楽典について調べる。【0.5 時間】

事後学修課題:授業内容を復習して楽典について理解する。【0.5 時間】

4. 基本リズム 1 (2、4 拍子)

事前学修課題:リズムについて関心を持つ。【0.5 時間】

事後学修課題:授業内容を復習して2、4 拍子のリズムについて理解する。【0.5 時間】

5. 基本リズム 2 (3、6 拍子)

事前学修課題:2、4 拍子のリズムについて復習する。【0.5 時間】

事後学修課題:授業内容を復習して3、6 拍子のリズムについて理解する。【0.5 時間】

6. 応用リズム

事前学修課題:3、6 拍子のリズムについて復習する。【0.5 時間】

事後学修課題:授業内容を復習して様々な拍子のリズムについて理解する。【0.5 時間】

7. 歌唱 1 (斉唱、合唱)

事前学修課題:歌唱の練習をする。【0.5 時間】

事後学修課題:授業での歌唱曲を復習して習熟する。【0.5 時間】

8. 歌唱 2 (弾き歌い)

<p>事前学修課題:弾き歌いの練習をする。【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題:授業での弾き歌いの曲を復習して習熟する。【0.5 時間】</p>
<p>9. コード奏法基本 1 (コードネーム)</p> <p>事前学修課題:コードネームについて調べる。【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題:授業内容を復習してコードネームについて理解する。【0.5 時間】</p>
<p>10. コード奏法基本 2 (メジャー・マイナーコード)</p> <p>事前学修課題:メジャー・マイナーコードについて調べる。【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題:メジャー・マイナーコードを復習する。【0.5 時間】</p>
<p>11. コード奏法基本 3 (7 t h. コード)</p> <p>事前学修課題:7 t h. コードについて調べる。【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題:7 t h. コードを復習する。【0.5 時間】</p>
<p>12. キーボードアンサンブル 1 (個人練習)</p> <p>事前学修課題:本時のための課題曲を練習する。【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題:課題曲を復習して習熟する。【0.5 時間】</p>
<p>13. キーボードアンサンブル 2 (パート練習)</p> <p>事前学修課題:本時のための課題曲を練習する。【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題:課題曲を復習して習熟する。【0.5 時間】</p>
<p>14. キーボードアンサンブル 3 (合わせ練習)</p> <p>事前学修課題:本時のための課題曲を練習する。【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題:課題曲を復習して習熟する。【0.5 時間】</p>
<p>15. キーボードアンサンブル 4 (発表)</p> <p>事前学修課題:発表に向けて課題曲を習熟する。【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題:発表を振り返り更に習熟する。【0.5 時間】</p>
<p>【学習のあり方】</p> <p>課題曲を練習して授業に臨むことが受講条件。課題曲の予習ができていない場合は、授業に参加できない。また、グループワークにおいては自発的、積極的でない場合は授業に参加できない。欠席すると、合奏・合唱・グループワーク全てにおいて支障をきたすので全出席が基本。</p>
<p>【成績評価】</p> <p>学習意欲及び授業内での習熟度 (60%)、授業内発表・試験 (35%)、レポート (5%)</p> <p>上記 3 項目のそれぞれ 60%以上の点数取得が合格条件。</p>
<p>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</p> <p>小テストやレポートには適宜コメントを記入或いは説明・指導をして返却する。</p>
<p>【テキスト】</p> <p>適宜教材配布する。テキスト(教材)を忘れた場合にはレッスンは聴講となる。</p>
<p>【参考文献】</p> <p>授業内で指示する。</p>
<p>【実務経験の有無】</p> <p>無</p>